



大吉賢

さん
27歳
竹垣出身

グランドスラム・ウランバートル2023
73kg級 優勝
全日本柔道連盟強化選手（10月31日時点）



毎日全力で！
おのずと夢に近づける
大吉賢

きっかけは保育園の友達

モンゴルで開催された世界大会、グランドスラム・ウランバートル2023で優勝した大吉賢さん。おおよしけん「保育園の時、同級生がやっていたことで柔道に興味を持ち、自分もやってみたくて5歳のころに始めました。当時は結果にとらわれず、とにかく仲間と柔道をしていることが楽しかったです」と柔道との出会いを振り返ります。

どんな時も仲間とともに

その後、中学生の時に全国中学校体育大会の団体戦でベスト8、高校生の時には全国高等学校総合体育大会で団体の部で優勝を経験した大吉さんですが、大学に進学したころは思ったように結果が出なかったそうです。そんな時に気持ちを支えてくれたのは仲間の存在でした。「自分はライバルと競うよりも、ともにチームで戦う仲間のために考えたときに力が出るんですね。誰かが調子を落としたときには自分が引っ張り、自分が調子を落としたときは引っ張ってもらう。そうやってお互いの存在を意識し合って高め合うことでチーム全体が強くなった」と教えてくれました。

どんな時も仲間とがむしやりに打ち込んだ大吉さんは、全日本学生体重別

団体優勝大会の団体の部で日本体育大学で初めて優勝を勝ち取りました。

柔道が作ってくれた人生

5歳から柔道の世界に飛び込み、柔道人生22年の大吉さんは「自分の人生は柔道が作ってくれたもの」と語ります。柔道に打ち込んだ時間、柔道をとおして出会えた人たちの存在は大吉さんにとって人生そのものといえます。

現在は、母校などで毎日練習に取り組みながら技を磨き、年に1回は海外で武者修行をしています。「頻繁に大会があるわけではないので、一試合を大事に挑戦しています。その分負けてしまったときは大きくへこみますが、仲間のがんばりを見て、自分もがんばれます」と笑顔で話してくれます。仲間とともに切磋琢磨する大吉さんは、人とのつながりを大切に、世界への挑戦を続けます。



幼少期の大吉さんが柔道に励んだ晴明館帰省した際には後輩と練習に取り組みます